100 YEARS 2024 TACHIHI

立飛グループ創立100周年記念事業

# 立川立飛歌舞伎

特別公演

2025年10月
23日（木）13時開演
24日（金）13時開演
25日（土）11時開演
17時開演
26日（日）13時開演
★開場時間はいずれも開演1時間前

立川ステージガーデン

市川猿弥

市川笑也

市川笑三郎

市川青虎

藤間康詞

市川團子

尾上右近

中村壱太郎

市川中車

## ご挨拶・解説

ご挨拶　市川中車
解説　中村壱太郎
同　市川團子

## 連獅子

河竹黙阿弥作
長唄囃子連中

狂言師右近後に親獅子の精　尾上右近
狂言師左近後に仔獅子の精　藤間康詞
法華の僧蓮念　市川青虎
浄土の僧遍念　市川猿弥

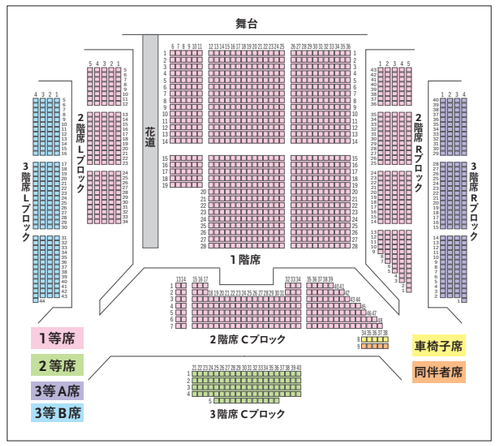
## 新説小栗判官

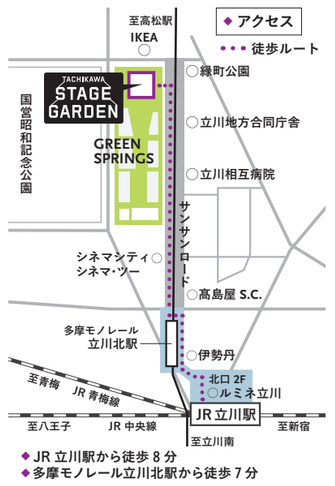
三幕七場

『當世流小栗判官』より
藤間勘十郎脚本・演出・振付
中村壱太郎　尾上右近　市川團子
宙乗り相勤め申し候

小栗判官七　市川團子
浪照手姫　中村壱太郎
鬼瓦の胴八　市川猿弥
遊行上人　市川青虎
万長後家お槇　市川笑三郎
浪七女房お藤　市川笑也
万長娘お駒　尾上右近
素戔嗚尊　尾上右近
横山大膳　市川中車

◆立川ステージガーデン　座席表




「開幕記念お披露目会」開催!!

★開催記念イベント　2025年10月19日（日）
★歌舞伎俳優出演セレモニー　11時～16時　緑町公園にて
立川ステージガーデン前から緑町公園にて　13時～13時30分

100 YEARS 2024 TACHIHI

立飛グループ創立100周年記念事業

立川立飛歌舞伎 特別公演

公演特設サイト

### ●ご観劇料

1等席　15,000円／2等席 10,000円
3等A席 5,000円／3等B席 3,000円
車椅子席 15,000円
（車椅子席1席につき、介助・同伴者様1名分までチケットをご購入いただけます）
車椅子席をご希望の方は公演お問合せフォームからお問合せください。
3階席Lブロックは花道がご覧になれない為、舞台正面の両脇にLEDビジョンを設置致しました。
2階席Lブロックも LED ビジョンで花道をご覧になれます。

●出演者は予定のため変更の可能性がございます。●この公演は会場内にカメラが設置されます。客席を含む会場内の映像・写真が公開されることがございます。●会場にお客様専用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用下さい。●未就学児童は、満4歳よりお一人様につき1枚切符が必要です。●上演中の飲食は禁止とさせていただきます。幕間では休憩スペースや客席でのご飲食は可能です。ご飲食に伴い発生するゴミはお持ち帰りくださいますようお願いいたします。

### ●チケット発売日

8月27日（水）午前10時より受付開始

- チケットぴあ https://w.pia.jp/t/tachikawa-kabuki/
- イープラス https://eplus.jp/tachikawa-kabuki/
- ローソンチケット https://l-tike.com/tachikawa-kabuki/
- チケットWeb松竹（24時間受付　発売初日の受付は10:00～）チケットWeb松竹 検索
- チケットホン松竹（10:00～17:00）0570-000-489 または 03-6745-0888

※チケットホン松竹でご予約されたチケットのお引き取り及び窓口販売は8月29日（金）10:00からです。（歌舞伎座・新橋演舞場・サンシャイン劇場・大阪松竹座・南座）※劇場窓口の営業時間は変更になる場合がございます。事前にご確認ください。※劇場窓口販売用別枠でのお取り置きはございません。※電話番号のおかけ間違いに十分ご注意ください。※当日券はご予約いただけません。

●お問合せ先：公演お問合せフォーム https://w.pia.jp/a/d-contact/

主催／株式会社立飛ホールディングス
製作／松竹株式会社　制作／株式会社アローブロモーション　企画／株式会社第一通信社
後援／東京都　立川市　立川商工会議所　立川市商店街振興組合連合会　立川市自治会連合会
一般社団法人立川観光コンベンション協会　一般社団法人たちきたエリアマネジメント　エフエムたちかわ
協力／公益財団法人立川市地域文化振興財団　株式会社三越伊勢丹　伊勢丹立川店　学校法人みんなのひろば ふじようちえん　株式会社壽屋

# 新説　小栗判官

将軍家の命により許婚となった、智勇を兼ね備えた小栗判官と、常陸国の領主の娘、照手姫の物語。二人は国の横領を企む横山大膳の計略によって離れ離れになってしまう。大膳は暴れ馬を使って小栗判官の命を奪おうとするが、小栗は得意の馬術でその馬を見事に手なずけてみせる。そして小栗は照手姫の父を殺したのが大膳だったことを知り、その仇を討つことを決意する。

この〝小栗判官と照手姫〟の物語は浄瑠璃や歌舞伎で数多くの作品に描かれてきた題材。今回は、三代目市川猿之助（二世市川猿翁）により復活上演された『當世流小栗判官』をもとに、藤間勘十郎が脚本・演出・振付を手がけて新たな作品としてお届けする。中村壱太郎、尾上右近、市川團子による宙乗りも見どころの一つ。

尾上右近

藤間康詞

尾上右近

市川團子

市川中車

中村壱太郎

# 連獅子

能の『石橋』をもとに親子の情愛を描いた人気舞踊。狂言師右近と左近が清涼山にある石橋を描写し、文殊菩薩の霊獣である獅子が仔獅子を千尋の谷に突き落として、這い上がってきた子だけを育てるという〝子落としの伝説〟を踊りで描く。父の姿を見つけて勇み立って仔獅子は這い上がり、親子は感動的な再会を遂げる。そして法華僧の蓮念と浄土僧の遍念がやってくるという間狂言では、お互いの宗派の違いから言い合いになっているうちに、おどろおどろしい山風が吹き、二人は驚いてその場を逃げてしまう。すると狂言師たちは後ジテとして親獅子と仔獅子の精となって現れ、獅子の毛振りで勇壮に舞納める。